



学校だより

# 鯛ノ巣

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校

●学校スローガン

キラリ 輝く 阿井っ子

あいさつ 一生懸命 あいじょう

令和4年3月号 3月22日発行

## 今開く！満面の花

## 卒業証書授与式

3月18

日に令和3  
年度卒業証

書授与式を行い、9名の卒業生が本校を巣立ちました。卒業生は、6年間の学びを象徴するかのようないへん立派な態度でした。在校生も、卒業式を成功させようという思いで、「礼儀・協力・責任」を合言葉に、真剣に式に臨みました。

昨年度に続き、「新型コロナウイルス」というワードを聞かない日がないぐらい、感染症に振り回され、制約があった1年間でした。しかし、制約があるなかでも、自分たちにできることは何か、全校のみんなが仲良くできるためにどうすればよいか、6年生は知恵をしぼりみんなで協力しながら、様々な活動が実現できるように努めていました。目の前の課題を解決していく力も、この環境の中で培うことができたと思います。



子どもたちの未来は無限に広がっています。志を高く、大地をしっかりと踏みしめながら、一步一步努力を重ねて明るい未来を築いてほしいと願っています。



## 夢と希望のつばさで 未来へはばたけ

「ありがとう 夢と希望のつばさで 未来へはばたけ」というテーマで、6年生を送る会を行いました。これまで様々な場面で阿井小のリーダーとして活躍し、優しく声をかけてくれた6年生です。そんな6年生に対して、1～5年生が感謝の気持ちをもちながら準備をすすめてきました。本番の送る会は、それぞれの学年やなかよし班からの贈りものやジェスチャーゲームなど趣向をこらした内容でした。保護者の方からも幼い頃のエピソードや写真を提供していただきました。ほっこりと温かな雰囲気の中での送る会は、みんなの思い出に残るような会になったと思います。



- 3月24日(木) 修了式・離任式
- 4月8日(金) 着任式・始業式  
〔4～6年弁当〕
- 9日(土) 入学式
- 11日(月) 振替休業日
- 12日(火) 給食開始
- 19日(火) 全国学力・学習状況調査  
(6年)
- 19日(火)、20(水) 22(金)  
家庭訪問
- 5月7日(土) PTA 総会

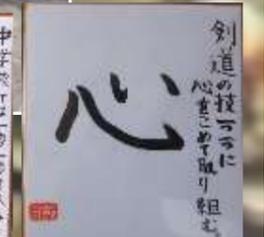
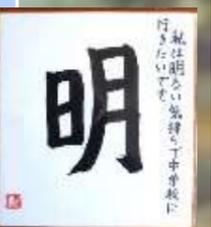
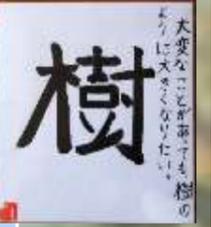


## 夢キラリ ジャンプ!

青空に向かって



大社町 稲佐の浜にて



ありがとう  
ございました

「卒園・卒業お祝い餅つき実行委員会」より卒業お祝い紅白餅を、民生児童委員 様よりお祝いのお花をそれぞれ卒業生に届けていただきました。



3月11日は、11年前に東日本大震災が起きた日です。昨年、福島県の福島桜21074(にどなし)実生植樹会から贈っていただいた「祈りの桜」の前で、お亡くなりになられた方々の冥福をお祈りし、一日も早い復興を願い、全校で黙とうをしました。「祈りの桜」は、中学1年生の皆さんが6年生のとき、地域の方と一緒に植えたものです。植樹された思いを受け継ぎながら、桜の成長を見守っていきたいと思います。

「祈りの桜」を  
受け継いで



3月24日の修了式をもって本年度が終わります。今年度も様々な教育活動において、地域の皆様、保護者の皆様にお手伝いいただき、本校の教育を支えていただきましたことに、衷心よりお礼申し上げます。お世話になりました皆様全員のお名前を掲載させていただきたいところですが、本紙面に掲載しきれないほど、多くの方にかかわっていただいた一年でした。学習面はもとより、登校時の見守り、環境保全等、多方面に渡ってご支援いただき、子どもたちは地域の皆様に育ててもらっていると、実感しています。皆様のおかげで子どもたちは、健やかに成長することができました。

今後も引き続き、阿井小学校教育にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

# 令和3年度学校評価について

●令和3年度の学校評価を行いました。学校評価は年度ごとに学校運営や教育活動について振り返り、成果と課題を明らかにすることによって次年度の教育活動の充実を図ることを目的としています。保護者の皆さんにはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。また阿井小を語る会の皆さんには、年度当初の学校経営の説明会にご出席いただき、貴重なご意見をいただきました。（年度末の評価検討会は感染症予防のため中止。資料を送付させていただきました。）皆さんのご意見も受けとめながら、今年度の取組を反省し、今後の学校運営に生かしていきます。主だった項目について記しましたのでご覧ください。

数字は、肯定的な評価のパーセントを表しています。

<b>児</b> 83	児童アンケートで83%が「よい、どちらかといえばよい」と回答	<b>保</b> 保護者	<b>職</b> 職員
----------------	--------------------------------	-----------------	----------------

## 学びあう力の育成

【学校教育目標】 学び続ける意欲をもち、心豊かにたくましく生きる阿井の子どもを育てる

キラリかがやく 阿井っ子になろう！

### ①情報活用実践力の向上

○すすんで学習に取り組んでいますか？（児）

**児 94**

○学ぶ意欲があり、すすんで学習に取り組む子どもが育っていますか？（保）

**保 86**

①情報活用実践力の育成をテーマとした授業改善の取り組みは今年度で4年目となりました。これまでは国語科を中心とした実践でしたが、今年度はさらに総合的な学習の時間や社会科などの学習にも拡げていきました。子どもたちは図書資料や新聞、インターネットなどの情報源から必要な情報を取り出して、情報カードに書き出したり、自分なりに再構成してまとめたりする活動に意欲的に取り組むことができました。高学年対象の島根県学力調査の6年国語では、県平均をもとにしたポイントが5年生の時より数ポイント向上しており、取り組みの成果が表れてきました。  
★情報活用の実践力について年度ごとに職員間の共有を図るとともに、著作物の扱い方や著作権について子どもたちが学ぶ機会をもちます。  
★NIE（新聞を活用した教育）の実践を令和4年度も継続します。

### 豊かな心・あふれる感性の育成

**児 90**

**保 77**

#### ④支え合うなかまづくり

○相手を思いやる気持ちのよい言葉づかい、行動ができていますか？（児）

④学年を越えて休み時間に仲良く遊んだり、温かい声かけをしたりする姿がみられるなど、子どもたちは、温かな人間関係の中で仲よく生活しています。職員のアンケートでも多くが肯定的な回答でした。児童会の実行委員会の子どもたちが、企画した「あったかプロジェクト」によって、集会や縦割り班遊びなども行うことができ、児童は異学年交流を楽しむことができました。90%の児童が、「学校生活は楽しい」と答えています。  
★児童の情報交換、お話タイムや教育相談、スクールカウンセラーによる面談なども継続しながら、子どもたちや保護者の悩みを解消できるように体制づくりを継続していきます。「学校が楽しい100%」を目標にします。

#### ⑤阿井小ルール（学習・くらし）の確立 ～規律ある学校生活～

**児 92**

**保 82**

**職 77**

○子どもはあいさつや正しい言葉づかいができていますか？（保）

⑤あいさつについては児童の意識が高く、9割以上の児童が肯定的な評価をしています。生活委員会の児童も毎朝、昇降口であいさつ運動を続けるなど、全校での盛り上がりも感じています。半面、地域の方や登校班の友達に対するあいさつが不十分な場面もあるようです。  
★「気持ちのよいあいさつ」について考え、あいさつ運動を実施したり、活動の振り返りを行ったりしながら、改善を図っていききたいと思います。

○そうじをいっしょうけんめいに行っていますか？（児）

**児 95**

**保 62**

⑤縦割りのなかよし班で掃除を行っています。子どもたちは、掃除の音楽が鳴り始めるとすぐに掃除を始め、熱心に掃除をしており、感心しています。保護者の設問は『子どもの家庭での役割（手伝い）などがあり、達成感もてるよう努めている』というもので、肯定的な評価は昨年度とほぼ同じでした。「家のおふるそうじをがんばっています。」と伝えてくれた1年生もいます。それぞれの家庭で、お子さんの役割について一緒に話し合われるのもよいですね。  
★項目には挙げていませんが、はき物揃えや、廊下歩行など、阿井小ルールについての意識を高める取り組みも進めています。

#### ⑥地域資源を生かした体験活動の充実 ～ふるさと学習の充実～

○阿井のよさに気づき、地域の人と積極的に関わっていますか？（児）

**児 84**

**職 82**

**保 79**

⑥今年度も地域の方々に様々な場で協力していただき、学習活動を行うことができました。子どもたちはそれぞれの活動を通して、阿井のよさ、奥出雲のよさを知るとともに、地域愛に満ちた方々との出会いを通して、地域を愛する心情も育っていると実感しています。  
★今後も地域の文化や行事を体験するだけでなく、それぞれの価値を考えたり、学んだことを発信していく活動にも力を入れていきたいと思います。（保：「子どもは地域行事に参加している。」昨年度60%から今年度79%へ）

## しなやかな体づくり

### ⑦自立した生活づくり充実

○テレビやゲームの時間についてルールを決め、それを守って生活していますか？（児）

**児 82**

○子どもは、規則正しい生活ができていますか？（保）

**保 68**

⑦児童の肯定的な評価は82%（昨年度79%）、保護者は68%（同72%『子どもは規則正しい生活ができていますか？』）でした。児童の肯定的な評価は前年度とほぼ同じですが、「そう思う」層が9ポイント減り「ややそう思う」層が増えています。また、保護者の肯定的な評価は7割弱にとどまりました。今年度は、健康教育の授業実践、メディアチャレンジデーの実施に加え、鳥取県情報モラルエドゥケーターの今度珠美さんをお招きして学校保健委員会を開催し、メディアとの上手な接し方について保護者と一緒に考える時間を設け、児童の意識化を図ることができました。残念ながら規則正しい生活習慣づくりに至っていない児童もいるようです。  
★依然として長時間、メディアに浸っている児童もいることから、今後も児童の自覚につながる継続的な取り組みが必要であると考えています。

### ⑧健やかな体づくりの充実

○すすんで体を動かし、体力づくりをしていますか？（児）

**児 80**

**職 85**

⑦からだづくりの項目では、児童の肯定的な評価は80%でした。前年度より4ポイント上がりました。業間マラソンに意欲的に取り組む児童の姿が見られ、また、阿井っ子エクササイズも新しい動きを取り入れることで熱心に取り組んでいます。  
★一部に運動にそれほど親しんでいない児童もいるので、業間マラソンへの意欲づけや雨天時の運動の在り方について、児童会にも投げかけて、子どもたちと一緒に考えていきます。

## 信頼される学校づくり

### ⑨地域や保護者との連携

**保 94**

○学校は、たよりやホームページ等で学校や学級の様子を知らせていますか？（保）

⑨昨年度から始めたブログは月に6回以上の情報発信を目標とし、学校便りは夏季休業中も含め毎月1回発行を目標としてきました。いずれも読んでいただいた感想を様々な機会を通して寄せていただき、ありがたく思っています。児童の活動の様子をできるだけ読みやすい形で発信できるように、今後も努めていきたいと思います。なお、個人情報保護の観点から、ホームページ版学校便り、ブログでは児童氏名を掲載していませんのでご理解ください。

阿井小の教育を語る会の方々からもご意見を寄せていただきました。来年度の実践に生かしていきます。（一部）  
○コロナ禍ではあったが、様々な活動を工夫して行われていたと思う。例年と同様な学校行事ができ、子どもたちも満足しているのではないかと。  
○学習発表会で発表する児童の姿が素晴らしかった。  
○学校図書館での貸し出し冊数が伸びていることはよい。今後、職員で指摘している「読書の質」をどのように高めていくのか。  
○ブログ、学校便りによる情報発信はよい。今後も続けてもらいたい。  
○学習中の姿勢や鉛筆の持ち方など、授業を参観して気になることがある。正しい姿勢や鉛筆の保持について、継続的に指導に取り組まれるとよい。

### ②読書活動の充実

○読みたい本を読んだり、分からないことを本で調べたりしていますか？（児）

**児 79**

**保 68**



②図書館を活用した授業実践は、延べ80回を超え、当初計画の2倍以上になりました。様々な教科で、図書館の活用が着実に浸透してきました。読書通帳、図書委員会によるピブリアバトルなど、読書習慣が定着するような楽しい企画を委員会の児童が意欲的に取り組んでくれました。今年度も、毎週金曜日のあいのゆめ、おはなしちゃんぼしの会の皆さんによるストーリーテリングなど、地域の皆さんにも本を読む習慣づくりに関わっていただきました。ありがとうございました。  
★読書量には、個人差、学年差があり、選書の傾向も偏りがあります。家庭での読書量についても同様の傾向がうかがえます。高学年では冊数より、じっくりと読み味わえるような選書を意識させ、読書の質を上げていきたいと思います。読書通帳を書く意味も、子どもたちに改めて考えさせていきます。

### ③学びの土台づくり～基礎基本の定着と活用する力～

○計算会・書き取り会の2回目までのトライで80%以上の児童が目標達成していますか？（職）

**職 84**

③毎月の計算会、書き取り会に向けて、多くの児童が自分なりの目標をもって意欲的に練習に励み、計算、漢字の定着を図ることができました。  
★個に応じた目標設定や家庭学習の在り方を例示し、一人一人が達成感を味わうことができるように、より丁寧な指導を心がけていきます。

○みんなの考えを聞いて自分の考えを深めたり、すすんで話したりしていますか？（児）

**児 79**



③色別班ごとのスピーチ集会を継続して実施しました。資料やパソコンを使って、スピーチの仕方を工夫したり、発表に対して積極的に質問や感想を言う児童が増えたりするなど、集会のレベルが上がり、お互いをよく理解し合う機会にもなっています。  
★日常的に実施している学級でのスピーチについても、教員間で共有します。